

第2学期「猿沢小学校まなびフェスト・そだてフェスト」検証調査の結果をお知らせします。

【回答率児童100% 保護者79%】2025/12/19

令和7年度「猿沢小学校まなびフェスト・そだてフェスト」第2学期のふりかえり【速報値】

一関市立猿沢小学校

猿沢小学校まなびフェスト・そだてフェスト内容			1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	前期比較
すすんで学ぶ子	勉強がすき	児 童 評 価	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	▼
			3.8	3.3	3.7	3.6	3.3	3.4	3.5	
	集中力・粘り強さ	児 童 評 価	3.8	3.5	3.5	3.4	3.7	3.6	3.6	☺
			3.6	3.5	3.3	3.8	3.7	3.7	3.6	
	家庭学習(学年×10分以上)	児 童 評 価	3.9	3.2	4.0	3.7	3.8	3.8	3.7	▼
			4.0	4.0	3.8	3.6	4.0	3.8	3.9	
		保護者 評 価	3.7	3.0	3.6	3.1	3.4	3.0	3.3	▼
	家庭での音読	児 童 評 価	3.4	3.3	3.8	3.5	3.3	3.8	3.5	▼
			3.9	3.7	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	
	家庭での読書	児 童 評 価	3.1	2.8	3.5	3.3	3.3	3.9	3.3	▼
			3.6	3.8	2.8	3.2	3.3	4.0	3.4	
		保護者 評 価	2.7	2.7	3.8	2.6	3.2	3.1	3.0	☺
	授業がよくわかる	児 童 評 価	3.6	3.3	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	▼
			3.6	3.5	4.0	3.8	3.8	3.7	3.8	
保護者 評 価		3.3	3.0	3.2	3.4	3.6	3.3	3.3	▼	
話す・聞く	児 童 評 価	3.5	3.5	3.5	3.7	3.5	3.8	3.6	▼	
		3.5	3.7	3.7	3.4	3.0	3.8	3.5		
思いやりのある子	さわやかな挨拶	児 童 評 価	3.3	3.3	3.7	3.8	3.5	3.8	3.6	▼
			3.4	3.7	3.8	3.9	3.7	3.9	3.8	
		保護者 評 価	2.7	3.3	3.4	3.4	3.6	3.6	3.3	▼
	共感的人間関係	児 童 評 価	3.9	3.8	4.0	3.8	4.0	4.0	3.9	☺
			3.8	3.7	4.0	3.7	4.0	3.9	3.9	
	自己肯定感	児 童 評 価	3.6	3.3	3.3	3.4	2.8	3.5	3.3	▼
			3.6	3.7	3.5	3.0	3.2	3.7	3.4	
	学校は楽しい	児 童 評 価	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	☺
			3.6	3.0	4.0	3.9	3.8	3.8	3.7	
		保護者 評 価	3.6	3.0	3.8	3.9	4.0	3.2	3.6	▼
なかよく助け合い	児 童 評 価	3.9	3.7	4.0	3.7	3.8	4.0	3.9	☺	
		3.6	3.3	4.0	4.0	3.8	4.0	3.8		
心も体も健康な子	目標をもって運動	児 童 評 価	3.4	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	3.7	☺
			3.8	4.0	3.5	3.7	3.7	3.8	3.7	
		保護者 評 価	3.4	3.7	3.0	3.2	3.0	3.3	3.3	▼
	早寝・早起き・朝ごはん	児 童 評 価	3.4	3.2	3.5	3.8	3.2	3.9	3.5	▼
			3.6	3.8	4.0	3.7	3.7	3.7	3.8	
		保護者 評 価	3.3	3.7	3.6	3.1	2.8	3.3	3.3	▼
	居間8ルール	児 童 評 価	3.4	3.0	2.7	3.5	2.8	3.6	3.2	▼
			3.6	3.7	3.5	3.6	3.2	3.5	3.5	
		保護者 評 価	2.9	3.0	3.2	2.7	2.6	3.0	2.9	☺
	おうちルール ※評価尺度の違い(6点満点中、7割越え4.2以上、8割越えは4.8以上の数値)	児 童 評 価	4.4	4.2	3.7	4.8	4.7	4.0	4.3	
保護者 評 価		3.7	4.7	4.0	3.8	3.4	3.8	3.9		

・3. 5以上で良好、3未満でがんばりたい項目です。

上段：R7 第2学期

下段：R7 第1学期同一集団

【考察】

本調査結果から、学習面・生活面・人間関係の各領域において、概ね肯定的な評価が得られていることが分かります。特に「授業がよくわかる」「なかよく助け合う」「学校は楽しい」といった項目は多くの学年で高い数値を示しており、学校生活全体への満足度は高いと考えられます。

一方で、「家庭学習(学年×10分以上)」「家庭での読書」「時間やルールを守る」といった家庭や生活習慣に関わる項目では、学年によるばらつきや、やや低めの数値が見られます。学年によって取組による数値が伸び悩む傾向があり、自己管理や家庭での学習習慣の定着が課題となっている可能性が考えられます。

また、「目標をもって運動する」「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣についても、全体として一定の意識はあるものの、継続的な実践には課題が残る結果となっています。家庭との連携をより一層深める必要性がうかがえます。

人間関係に関する項目では、「共感的人間関係」「助け合う」といった点で高い評価が多く、児童同士の関係性が良好であることが本校の強みであると言えます。この強みを生かしながら、学習意欲や生活習慣の改善へとつなげていくことが今後の課題であります。

今後は、学年の発達段階に応じた目標設定や振り返りの機会を充実させるとともに、家庭学習や生活習慣について家庭と共通理解を図り、学校・家庭がより一体となった指導を進めていくことが重要であると考えます。